

ハマスゲに懷う

今から拾数年前、日本とカンボジアの両政府間で、カンボジアに農業試験場を建設することで話が進み、その場所としてプノンペンから第1国道を約20km南下した所が選ばれた。この農場の付近は、メコン河の支流であろう小河川の多い地帯である。農場を建設したものの、とうもろこし栽培（育種を主としていた）の畦間には、一面といってよいほどハマスゲの葉が太陽に当って光っていた。残念ながら、紫色種か黄色種かは判っていない。5年前頃ブラジルを訪れ、サンパウロ近郊のイハラブラスト工場を訪れてお世話になる機会があった。庭の芝生の中に紫色種・黄色種が混在して、相当数発生しているのを見た。それから約100km離れた畑作地帯を歩いたが、畑の周辺には到る所でハマスゲが多かったことを思いだす。所は変わるが、昨年ある用事でパキスタンを訪れ、ラホールから北へ進んでインド国境の棉作地帯を見聞した。この付近はインダス河の上流に当り、畑灌によって棉花栽培を行なっている。丁度、棉を播種して第1回の灌漑を終えたばかりであったが、その畦間にハマスゲが一面に生えているのを見た。以上、私は廻った範囲で見た所を拾ったものであるが、“World worst weed”によれば、3大強害雑草として記録されている中で、とうもろこしでガーナ・フィリピン、棉でスーダン・スワジランド・トルコ・ウガンダ、稲でガーナ・インドネシア・ペルー・南アメリカ・台湾、サトウキビでアルゼンチン・インド・インドネシア・台湾等をあげている。ハマスゲという雑草の重要性を、今さらながら感ずる次第である。

〔財団法人 日本植物調節剤研究協会理事
石原産業株式会社 農薬開発室長 浦野啓司〕

目 次 (第14巻第1号)

北海道におけるタマネギ畑の雑草防除 … 2	
＜北海道農業試験場 小餅昭二＞	
1. 北海道におけるタマネギ栽培 の現況 …………… 2	
2. タマネギ畑の雑草 …………… 3	
3. タマネギ畑の除草 …………… 4	
4. 今後の問題点 …………… 5	
昭和54年度春夏作野菜花き関係除草 剤・生育調節剤試験成績概要 …………… 7	
＜日本植物調節剤研究協会技術部＞	
昭和54年度春夏作野菜花き関係除 草剤・生育調節剤試験薬剤一覧な らびに判定表 …………… 7	
昭和54年度茶園関係除草剤・生育調 節剤試験成績概要 …………… 21	
＜日本植物調節剤研究協会技術部＞	
昭和54年度茶園関係除草剤・生育 調節剤試験供試薬剤一覧および判 定結果 …………… 21	
外国文献抄録 …………… 22	
農薬残留分析実施上の良き慣行(案)	

表紙の写真は、ケフシグロの種子表皮細胞を走査電子顕微鏡で撮影したもの、星状突起型、550倍。

〔写真提供者：笠原安夫氏〕